

京都デザイン賞

入賞・入選作品

新しい 京都のデザイン

主催=社団法人 京都デザイン協会

■主催

(社)京都デザイン協会

■後援

京都府
京都市
京都商工会議所
(財)京都産業21
京都府中小企業団体中央会
京都市立芸術大学
京都意匠文化研究機構
京都新聞社
NHK 京都放送局
KBS 京都
エフエム京都

■協力

(株)染織と生活社
(株)田中直染料店
府庁旧本館利用応援ネット

■協賛(賛助会員)

(株)アウラ
市田(株)
(株)エグザム
大阪ガス(株)
(有)画箋堂
カミヨ(株)
(株)京都銀行
京都信用金庫
京都中央信用金庫
京都百貨店協会
(株)聖護院ハツ橋總本店
(株)竹尾大阪支店
(株)田中プリント
(株)千總
朝陽堂印刷(株)
日本写真印刷(株)
(株)半兵衛麩
富士ゼロックス京都(株)
平和紙業(株)
山内紙器(株)
吉忠(株)
六和証券(株)
(株)若林佛具製作所

■協賛

(株)祇園平八
京都造形芸術大学
京都精華大学
京都芸術デザイン専門学校
京都嵯峨芸術大学
大阪成蹊大学 芸術学部
イワモトエンジニアリング(株)
高島屋スペースクリエイツ(株)
刀剣 開陽堂
(株)フクナガ
(株)アートバンク
ARC FURNITURE POINT
薔技塾 徳舂瓦店(有)
(株)かわな工業
北白川天然ラジウム温泉
(株)キヌガワ京都
(株)教材研究所
協同組合京のほんまもん塾
地主神社
(株)スイッチ・ティフ
(有)高橋写真製版
(株)TNC プライダルサービス
(株)ナカタニ工務店
(株)西村工務店
BAL 中澤(株)
三浦照明(株)
(株)ワイズコーポレーション



社団法人 京都デザイン協会

〒604-8247 京都市中京区塩屋町39(三条通小川北西角)

TEL:050-3385-8008 FAX:050-3385-8009

URL: <http://www.kyoto-design.net/> E-mail: info@kyoto-design.net

社団法人京都デザイン協会は、1975年5月「21世紀の新しい波を京都から」を設立趣旨として、京都に活動基盤をおく、各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー及びデザイン団体を結集し、デザインを通じて京都の地域産業の振興と、豊かな生活環境の形成に寄与することを目的として設立し活動を続けてまいりました。

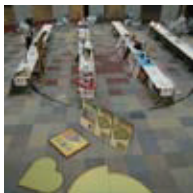
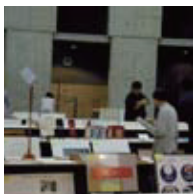
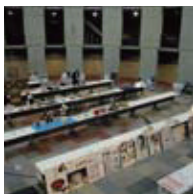
「京都デザイン賞2010」入選作品展の展示作品は、昨年の第1回に続き、京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて、新しい京都のデザイン創出を図る作品を発見、顕彰、そしてその良さを広報し、流通に載せる一助を担うことを目的として公募し、応募された作品の中から審査により厳選された作品です。

第2回の今回へは103点の応募をいただきました。審査基準は「斬新な京都のイメージを創出している」「独創性がある」「使いやすい配慮がなされている」「新素材、技術に挑戦している」「環境への配慮がなされている」を念頭に、一次審査を協会会員、二次審査を外部審査員により実施し、38点の入選作品を選出、その中から京都デザイン賞 大賞1点、京都府知事賞2点、京都市長賞2点、京都商工会議所会頭賞2点、学生賞1点を選出させていただきました。

ここに「京都デザイン賞2010」の入賞・入選作品を選出し展示させていただくことができましたのは、出品者のもとより、多くの後援、協力、協賛をいただいた企業・団体・個人のみなさまのご理解とご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

私たちは「京都デザイン賞」を、京都発21世紀の大きな波にして日本、世界へ向けて発信していく所存ですので、より一層のお力添えをお願い申し上げます。

2010年11月

主催者代表 社団法人京都デザイン協会
理事長 奈良 磐雄

杉崎 真之助 (グラフィックデザイナー)

デザインは多彩で幅広い。あらゆるジャンルの作品を一度に俯瞰し、優秀作を発掘する。審査員にとってもタフな現場ですが、そこから選ばれていく作品には本質的なデザインの強さが備わっています。私は特にコミュニケーションの視点で審査しました。これはジャンルを超えて全てのデザインが内包する機能です。

学生賞に選ばれた「Meat × Grass」は、閉塞する時代に対して元気をメッセージしています。理屈ではなく気持ちのコミュニケーション。しかし作品には社会を見つめる批評性と提案性が込められています。「karakami kit」「Garden-Nano Ver.3.0k」「還・Return」は、唐紙の製作過程、自然との対話、包む行為など、いわば文化や風土をマイクロコスモス化した京都の地で選ばれるにふさわしい作品群です。大賞の「KRP9号館サイン計画」は、相反する建築性と情報性を自然素材の中で高度に融合させています。

農業のビジネスモデルなど、選外の秀作に今後の京都デザイン賞の幅を広げる可能性を感じました。作品の見せ方にさらに工夫が必要でしょう。コンテストで磨かれることが、社会へのプレゼンテーション力の獲得につながります。

滝口 洋子 (京都市立芸術大学准教授)

2年目となった「京都デザイン賞」ですが、昨年に続いて第2分野への応募が少なかったのは残念なことでした。この分野では主に繊維素材を使用するという大前提があり、素材／技術／デザインの3つのバランスが特に重要となります。今回の応募作品の中でも素材や技術面では素晴らしいものがありながら、デザインの提案が弱く入賞に至らなかったものが何点もありました。

「京都デザイン賞」は「京都」を切り口に、様々な分野のデザインを同じ土俵で審査をするユニークなシステムを採っています。作品を前にしてディスカッションを重ねながらの審査は厳しい面もありますが、とても興味深く勉強になります。みなさまもいろいろなジャンルの入賞作品をじっくりご覧になることできっと新しいデザインにつながる発見があると思います。

来年は第2分野においても現代の生活者に向けて斬新な提案のある作品が集まることを期待しています。

北條 崇 (プロダクトデザイナー)

今年もレベルの高い作品が多く集まりました。

京都デザイン賞の特徴として、「京都らしさ」を感じる製品を選定しています。それは単に京都の技術や伝統を使ったというだけではなく、固有の文化をどう今の社会に問い掛けていくのか、という視点が必要になります。

今年度の受賞作品を見ると、京都の文化に対する深い洞察と、「モノの在り方」を考える、広い意味でのデザインを展開しているものがばかりでした。

惜しくも入賞、入選からもれた作品にも良いものがありました。

それらの製品の多くは展示の際、そのモノ単体で見せている場合が多くありました。簡単な小道具や写真等を用いる事で、製品とその周囲の空間の関係を説明することが出来ます。また、作り手がどういう使われ方を想定しているのかも説明出来ます。

さらに、商品を製作している過程や背景に独創的な取り組みがあり、それが「無形」の製品価値になっているものも多くありました。審査の際に商品の外観だけを見せるのではなく、そういった背景を説明して、その点の評価を受ける事も可能でした。

製品はそれ単体の「色・柄・形」だけで成立するものではなく、周囲の空間や人との関係性によって成立します。それらの調和を為すのが、デザインの本当の仕事になります。

新井 清一 (建築家・京都精華大学教授)

京都デザイン賞2010の審査するにあたり、再度自分自身の審査基準を設定したいと思っていた。

私の専門領域である建築領域を介した都市、建築、空間、インテリアであるが、これらの作品は審査会場には入らない。つまり、作品プレゼンテーションパネルを介した表現から読み取る事が主な方法となる。写真や、図面、及び図式等の組み合わせが如何に作者の意図をひも解くかの媒体となる。

他方平面系、グラフィック／イラスト、プロダクト系の作品等は現物、もしくはそれに近い形で我々の視界、手触り、又はディテールの細部迄感じることができる。

このような状況下、審査、その基準は共通する尺度で行なわれる事が難しいのであるが、京都のイメージ、独創性使い易さ、素材／技術、環境等のキーワードが選定のベースとなり得た。

KRP9号館サイン計画は柄、パターンが大きな要素としてヴィジュアル的にも空間的にもデザインの要素として効果的に組み込まれた作品であると思える。

小さく広い家の住宅作品も、特別奇異な発想に頼らず、適切効果的な外内部の空間設定を施す事、またその効果に和を加味する素材を伴っている作品である。

パッケージそのものが欲しくなる作品“選”、人々の動きと共にその見え方が異なる製品“刻銀”の更なる可能性にも期待したい。

島田 昭彦 (株式会社クリップ代表取締役)

私は、ヒト、モノ、コト、文化を『クリップ』しながら事業プロデュース、新業態開発を本業としている。そんな逆算のマーケティング視点で見た時、今回は、デザインをビジネスに展開できるポテンシャルを持った作品が多かったように思う。「小さくて広い家」は、自然体で等身大だと感じた。理由は、30～40歳代で家を持ちたい、けれど大邸宅を購入できるほどの経済力はない。でもセンスある家に住みたい。ある種、時代感を反映させた現代都市生活の最終回答的な住宅に仕上がっている。「karakami kit」京唐紙の体験キットは、国内外で体験型の学びが増えている中、雑誌の「サライ」、外国誌では「monocle」と連動した形で展開すると商流的にダイナミックな動きが出てきそうなポテンシャルを感じた。外国人の評価も三ツ星級だろう。大賞に選ばれた「KRP9号館サイン計画」私の実家が代々、キモノに家紋を手で描く紋章工芸師であることから、特に思い入れを持って一票を投じた。一方、目を引いたのは、学生賞の「Meat × Grass」。学生は元気が一番！ガオーの文字も秀逸かつ笑える！ほか入選作品も、京都らしいポテンシャルを持ったものが多く見受けられたし、京都デザインがアジアへ世界へ。そしてデザインで京都を日本を元気にするお手伝いができれば本望だ。



KRP9 号館 サイン計画

株式会社日建スペースデザイン (米澤研二・今井充彦)



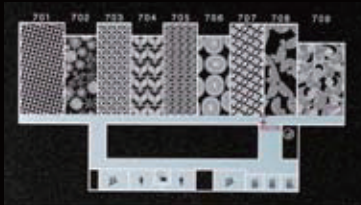
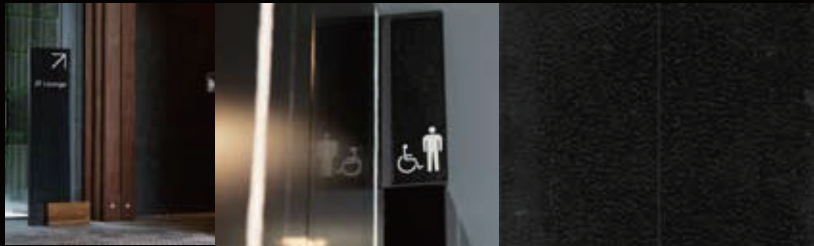
KRP9 号館 サイン計画

KRP9 号館は京都において起業の後、規模拡大期を迎えた企業をターゲットとした複合オフィスビルである。サインデザインは、入居する人々に対して、京都を基盤として働くことの満足感を高める仕掛けとなることが求められた。そこで、京都の気配を感じさせる伝統的な技術や意匠を踏襲しつつ、革新性を感じさせるデザインを目指した。



染物

京友禅の技法である引き染めを施した着物をガラスで挟み込み、サインの表示板とした。周囲の景色を反射しつつも、背景を柔らかに透過し、見る角度によって表情を変えていく、奥行きを感じさせるサイン。



文様

各オフィスにはそれぞれ異なる文様が与えられている。文様は屏に描かれ、視覚的な楽しみを与え、各々の個性を強調する。各階フロア案内にも、オフィスごとに対応した文様が描かれ、感覚的に導かれるフロア案内となっている。

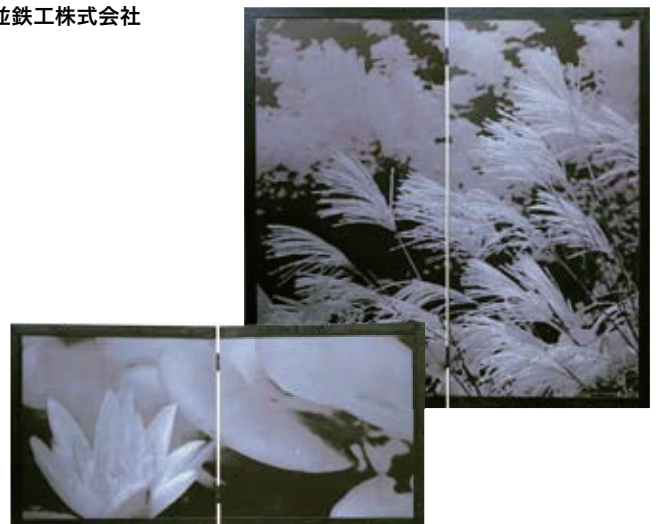
文様は全て、型染染の伝統技法を用いて、自然物や風景だけでなく、心象や目に見えぬ対象物も表現する、伊砂文様のものを使用した。



風景

建物を貫くように施された壁面グラフィックは、嵐山の竹林イメージを水墨画のように抽象化させて作成した。モチーフの竹は入居する企業の成長イメージとシンクロする。またこの水墨の竹林は小道をつくり各諸室へ導く機能を果たす。







B部門 学生賞

Meat×Grass

京都造形芸術大学



■ 部 門

A 提案部門……………製品化・実用化することを前提としたもの。

B 作品および製品部門……既に製品化・実用化されているものに限る。

■ 分 野

第1分野…グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション

第2分野…ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

第3分野…プロダクトデザイン・パッケージデザイン

第4分野…ディスプレイ・インテリアデザイン・建築・ランドスケープ

A部門第3分野 入 選

清包～さやけきくるみ～

玉村有以 (U・N・I Design & Project)



A部門第3分野 入 選

京つつみ

藤尾友理子 (京都嵯峨芸術大学)



A部門第1分野 入 選

京 R コード

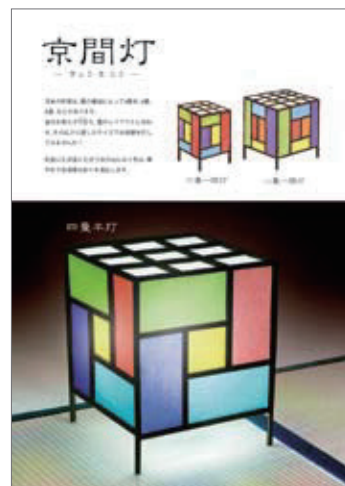
長谷川真波 (京都嵯峨芸術大学)



A部門第3分野 入 選

京間灯

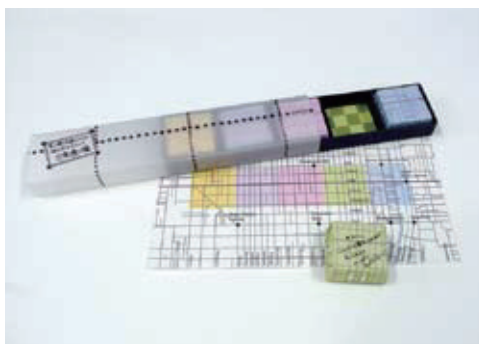
堀野美雪



A部門第3分野 入 選

待ち合わせチョコ

上本佳波 (京都嵯峨芸術大学)



A部門第3分野 入 選

アクリル行灯

(株) 丸二



A部門第4分野 入 選

ど・丹波クッキーシリーズ

南丹市社会福祉協議会あじさい園



B部門第2分野 入 選

正絹スカーフ

杉本幸子



A部門第4分野 入 選

南区東九条地域の仕の活性化計画

青山高久・谷真也・中村圭佑・

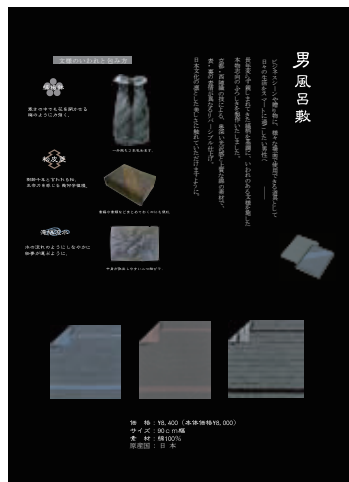
梶田久美子・渡部明彦



B部門第2分野 入 選

男ふるしき

宮井株式会社



B部門第2分野 入 選

『御沓 (おくつ)』吉靴房 xSOU・

SOU

吉靴房



B部門第2分野 入 選

ひょうたん→コマ

大和功典



B部門第2分野 入 選

絹ふくれ褌

絹あそび橋本修治商店



B部門第3分野 入 選

有心銘茶「禅の詩 (こころ)」

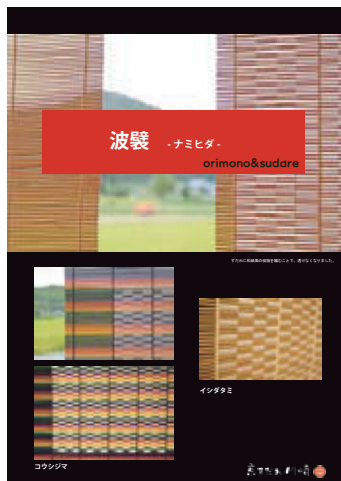
(株) 茶匠 井六園



B部門第3分野 入選

波襷 ナミヒダー

京すだれ川崎



B部門第3分野 入選

携帯写経御道具「阿吽」

(株) 尚雅堂



B部門第3分野 入選

手にしっかりとなじむステッキ (杖)

(株) 熊谷設計事務所
(熊デザイン工房)



B部門第3分野 入選

銅 燈花器

(有) 西村松寿堂 島 明彦



B部門第3分野 入選

世界の茄子シリーズ スティックテイスト

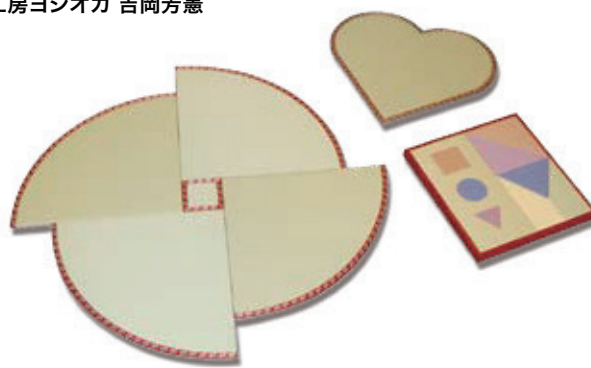
(有) 篠ファーム



B部門第3分野 入選

アート畳、円形薄畳、ハート形薄畳

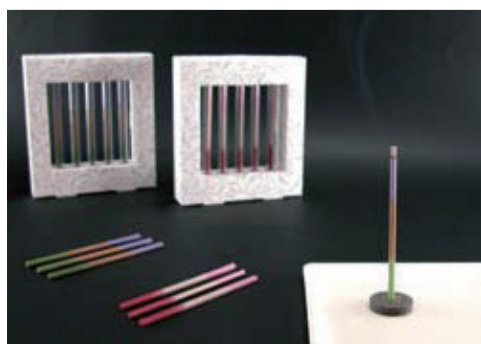
(有) 畳工房ヨシオカ 吉岡芳憲



B部門第3分野 入選

Xiang Do ～ un tiers ～ (シアン ドゥ -アン ティエル -)

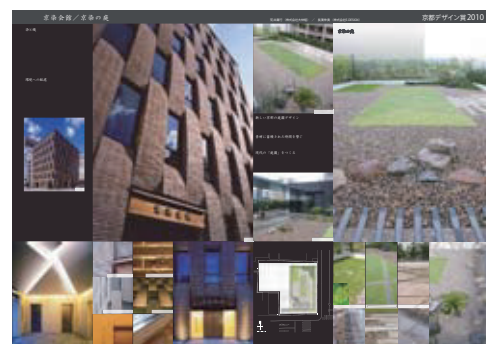
(株) 松栄堂



B部門第4分野 入選

京染会館／京染の庭

株) 大林組／(株) E-DESIGN



B部門第4分野 入選

白梅町の家 和と洋のコラボ

アルバック(株) 地域計画建築研究所



B部門第4分野 入選

ニッセン四条新町ビル

(株) 竹中工務店 鍋谷めぐみ



B部門第4分野 入選

荒壁を廻る家

究建築研究室 柳沢 究



B部門第4分野 入選

KRP9号館

(株) 日建設計



B部門第4分野 入選

同志社小学校

(株) 高松伸建築設計事務所



B部門第4分野 入選

京都市伏見区総合庁舎

(株) 松田平田設計+
(株) 高松伸建築設計事務所



B部門第4分野 入選

福寿園京都本店

(株) 竹中工務店 須賀定邦



B部門第4分野 入選

Shelf-Pod/ 君府亭

森田一弥建築設計事務所

